

2023年4月1日
改定①2023年6月12日

ISO/IEC 27001:2022 の発行に伴う審査対応のご案内

日本化学キューエイ株式会社
ISMS 審査部

ISO/IEC 27001:2022 が発行され(2022年10月25日)、それに伴う移行手順が正式に明確になりました(IAF MD 26:2023 : 2023年2月15日発行)ので、当社より ISMS 認証サービスを提供させていただいている組織様及びご検討中の組織様に対し、ISMS 認証の適用規格改訂に伴う当社での対応についてご連絡させていただきます。以下ご確認いただき、今後の審査受審のタイミングについてご検討いただけますようお願い致します。

■ ISO/IEC 27001:2022 改定の要点

【表題】 改定の趣旨を反映して大幅に変更されています

旧 情報技術－セキュリティ技術－情報セキュリティマネジメントシステム－要求事項
→ 新 **情報セキュリティ、サイバーセキュリティ及びプライバシー保護**－情報セキュリティマネジメントシステム－要求事項

【本文】 ほとんど変更は無く、最新の MSS 共通テキストの反映と ISO/IEC 27001 に固有の形式的な変更のみである、

【附属書 A】 ISO/IEC 27002 : 2022 の改定内容を反映して大きく変更されています。

(注 : ISO/IEC 27002 : 2022 は 2022 年 2 月に発行済み)

管理策 114 項目から 93 項目に整理された。

その内訳 2013 年版継承・拡張項目 58

2013 年版管理策を統合項目 24

2022 年版新規項目 11

管理策体系の簡素化 従来 14→今回 4 (組織的管理策、人的管理策、物理的管理策、技術的管理策)

■ IAF MD 26:2023 の要点

【認証の移行期限】

2025 年 10 月 31 日(改訂版発行月の末日から 3 年)

※期間内に改訂版への移行を行わない場合、現行版の ISMS 認証は失効となります。

【現行版による初回認証審査及び再認証審査の開始期限】

2024 年 4 月 30 日(改訂版発行月の末日から 18 か月)

【移行のための追加の審査工数】

1)移行審査を再認証審査と同時に実施する場合、少なくとも 0.5 人日を追加しなければならない。

2)移行審査をサーベイランス審査と同時に、又は単独の審査として実施する場合は、少なくとも 1.0 人日を追加しなければならない。

■JCQAの2014年版での審査対応

- 2014年版での初回審査：第一段階審査を2024年4月30日までに開始できるものを受付けます。それ以降開始はすべて改訂版審査になります。
- 2014年版での更新審査：更新審査を2024年4月30日までに開始できるものを受付けます。それ以降開始はすべて改訂版移行審査になります。

■JCQAの改訂版での審査

受審組織は、2025年10月31日までに移行審査を完了する必要があります(登録委員会で登録まで完了するため余裕を考慮ください)。

- 改訂版での初回審査：2023年8月1日以降に受け付けます。
- 改訂版による更新・移行審査：同様に2023年8月1日以降に受け付けます。
尚、登録済み組織様には、日程の都合上これ以前でもご案内する場合があります。
- 改訂版による臨時審査(単独審査)：更新、維持以外のタイミングで審査を希望される場合も同様に2023年8月1日以降に受け付けます。
- JIS Q 27001:2023が発行されるまでは、対訳版がJSAグループ(日本規格協会グループ)のサイトなどから購入できますのでこれを使用します
- 審査工数：IAF MD 26:2023【移行のための追加の審査工数】にて行う。

JCQAの移行審査対応

2022年版移行審査 スケジュール JIP-IMAC226-2.0 (ISMS認証機関認定の実施に係る指針MD26)		2022			2023												2024												2025											
		2022年度			2023年度												2024年度												2025年度											
		9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
ISO/IEC2022年版規格		▲10/25			2022年版発行												▲4/30												▲10/31											
JIS 2023年版発行(現在明確でない)					推測												10/31までに登録委員会で登録が終了する必要があります。																							
受審組織	登録済み組織の移行期間	▲10/25～																											▲											
受審組織	JIS Q 27001:2014での初回認証の開始可能期間	▲10/25～			2014年版での初回認証の開始可能期間												▲4/30までに初回認証の開始												10/31まで											
	JIS Q 27001:2014での再認証(更新)の審査開始可能期間	▲10/25～			2014年版再認証(更新)の審査開始可能期間												▲4/30までに再認証(更新)の審査開始																							
JCQA	JCQAにて登録組織の2022年版移行審査(8/1～受付開始)				▲8/1～受付開始																								▲											
	JCQAにて2022年版での新規受付(8/1～受付開始)				▲8/1～受付開始																																			

■受審組織様 2022年版移行ステップ（2023年6月12日改定）

約9か月前から準備を始め、STEP 1～STEP 4の順番で移行される例を掲載いたします。

2022年版移行ステップ例

2022年版移行ステップ	実施事項	-9か月	-8か月	-7か月	-6か月	-5か月	-4か月	-3か月	-2か月	-1か月	移行当月
STEP1 移行前7～8ヶ月 改正規格を理解する	規格書の購入・準備 社内の関係部署への教育・訓練		STEP1								移行 審査
STEP2 移行前4～6ヶ月前	ISMSをバージョンアップします。 STEP 1と並行して事務局などでの 現行マニュアル及び管理策の更新を行う 。2022年版としての追加・新規項目があるので不足箇所の補足（課題、リスク及び機会への取組み、管理策の選択など）改正規格対応の管理策（クラウド対応等）をレビューし、適用宣言書を作成します				STEP2						
STEP3 移行前3～6ヶ月前	・JCQAでは、ISMSマニュアル・管理策を改定した場合、必要な場合は「ISMSマニュアル・管理策レビュー」をお受けいたします（有料）。* [ISMSマニュアル・管理策チェック]申込書					STEP3					
STEP4 移行審査3ヶ月前～審査まで	・現在、過去のインシデント、不適合などをレビューし、リスクアセスメント、リスク対応計画、及び管理策が適切で有効であったかをレビューします。内部監査及びMRなどを行うとより分かりやすいでしょう。 また今後想定される脅威（サイバー攻撃など）に対して、対応できるかを検証して貰います。また、クラウドサービス利用している場合は、SLA（サービスレベルアグリーメントよりデータの保管、削除などの契約）を確認して頂きます。 ・審査員ファーストコンタクトの後、審査チームは「移行審査計画書」を作成し、スケジュール調整を受審組織様と行います。							STEP4			

ご希望の組織様には、「ISMS マニュアル・管理策レビュー」を有料で行うことしております。

（STEP3）

また、関連移行セミナー、管理策セミナーも開催予定ですので、お問い合わせください。

以上

上記に関するお問い合わせ

弊社ホームページ(お問い合わせページ)よりお願いいたします。

・お問い合わせ内容は「食品、情報、その他」をお選びください。

URL: <https://www.jcqa.co.jp/contact/>